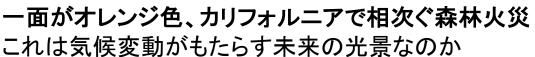
個人から仲間と共に

気候危機 地球規模での物質代謝の撹乱 地球搾取の結果の一例







グリーンランド氷床の現在の融解速度は、自然のサイクルの一部としては速すぎると科学者らは言う。氷床がすべて融解すると、地球の海面は約7.4メートル上昇する見込みだ。

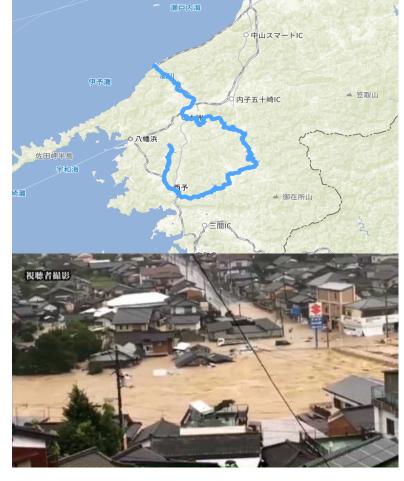
平成30年7月西日本豪雨

前線及び台風第7号による大雨等平成30年(2018年)6月28日~7月8日

西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨。

死者224名、行方不明者8名、負傷者459名(重傷113名、軽傷343名、程度不明3名)

住家全壊6,758棟、半壊10,878棟、一部破損3,917棟 床上浸水8,567棟、床下浸水21,913棟など



西予市野村町で7日朝、野村ダムが満水に近づいたため緊急放流を行なったところ肱川が氾濫

気候危機に立ち向かう

個人として、様々な取り組みや工夫

自転車通勤 太陽光パネル設置

節電、省エネ製品に切り替え

家庭菜園でできるだけ自給自足

ゴミの減量

その他諸々

いいね⇔。でも全体状況は変わらない!!

巨大な産業構造は??

システムの変革が必要! では何を?

今必要なこと:皆で力を合わせて!

一般社団法人



https://www.awa-energy.com

私たちの想い

未来の孫子のために

私達がいなくなった30年後の子供たちの笑顔を想像してみてください。



徳島県で再生可能エネルギーを普及させることを目的に設立

2021.1.24

あわエナジー: 角田 鉄人



設立の経緯

2020年1月 おばちゃんの井戸端会議で気候危機に立ち向かうために何かできないか?

2020年1月~6月 新電力株式会社TERA Energyをパートナーに、徳島で再エネ普及をめざ す活動開始:準備期間,市民団体「あわエナジー」発足

2020年6月29日 あわエナジーとTERA Energyエナジーの共同記者発表

2020年6月~ TERA energy電気の普及開始 メルマガ発信: ~6号、ブログ更新

2020年9月2日 「エコみらいとくしま」に団体登録

2020年11月8日 イベント: 気候危機 私たちの選択で未来が決まる ~パワーシフトを始めよう~

2021年1月4日 一般社団法人「あわエナジー」登記。設立



活動内容、計画

再エネ比率の高い電気を普及

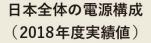
「TERA energy」は「あわエナジー」に寄付金を託してくれる(電気料金の2.5%)

これを使い、あわエナジーは

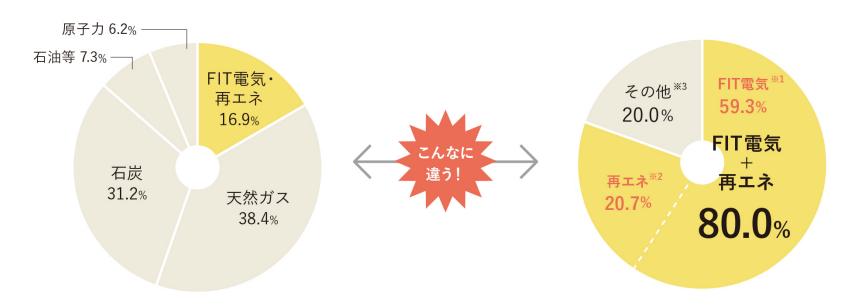
- 1)気候危機に立ち向かう啓発活動、学習講演会を開催
- 2)太陽光発電パネルを公益性の高い事業所などに寄付し、再エネ普及
 - 3)市民発電所設置のための活動



再エネ比率:TERA energy HPより



テラエナジーでんきの電源構成 (2019年度実績値)



出典:経済産業省資源エネルギー庁 各種統計情報(電力関連)



二酸化炭素排出量の大幅削減

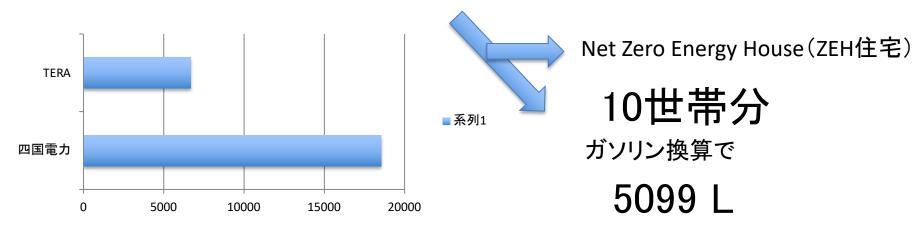
11月末:契約者数231件、供給電力量45,141kWh

四国電力 (2019年度)調整後排出係数 0.411 kg-CO2/kWh テラエナジー(2019年度) 調整後排出係数 0.148 kg-CO2/kWh

二酸化炭素排出量

四国電力: 18,553kg

TERA energyでんき: 6,681kg(削減量: 11,872kg. 削減率64%)





電力会社を選ぶ(パワーシフト)

良い商品(再エネの電気)が選ばれる



生産者へのメッセージ:売れ筋!は何か



流行すれば社会的インパクト



新経営戦略、新政策への転換

行政も推奨

第3次徳島市環境基本計画(素案)

電力小売全面自由化を踏まえ、市民や事業者に対し、より低炭素な電力を供給する小売電気事業者(電力 CO2 排出係数の低い小売電気事業者)の情報を提供

徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例

第四十三条 県民及び事業者等は、温室効果ガスの排出の抑制等を図るため、その家庭生活等又は事業活動において、再生可能エネルギー及び水素エネルギーの積極的な利用に努めるものとする。



新しいシステム構築には

産みの苦しみ:激痛が伴うことすらある 歴史の常

力を合わせ乗り越える:未来のために!

